

機能移転後の在宅療養患者支援策の進捗状況

【診療関係】

- 静岡富士病院長が行う富士宮市立病院での外来診療を、現在の月1回から複数回に拡大
 - ⇒ 平成29年4月～9月の間、週1回(毎週水曜日)外来診療
 - ※平成29年10月以降の診療回数は、4月以降及び機能移転後の診療状況を踏まえて検討予定です。

- 国立病院機構による在宅重症心身障害児(者)(てんかんを含む。)を対象とした「かかりつけ医」のリスト化及び静岡富士病院利用患者への紹介
 - ⇒ 静岡富士病院の外来患者(通所利用者)については、平成29年3月31日現在、入所等された方を除き、全て他院を紹介
 - ※現在の重症心身障害の外来診療は、短期入所利用前の一時的な診療のみです。

機能移転後の在宅療養患者支援策の進捗状況

- 定年退職した前小児科医長による富士市内の施設での発達障害の外来診療の継続（概ね週2回実施。このうち、月1回は富士市立中央病院において、発達障害の外来診療を実施することで調整中）
 - ⇒ 平成29年4月～ 富士市内の施設において週2回（木、金曜日）外来診療
このうち、月1回（第1木曜日）は富士市立中央病院において外来診療
 - ⇒ 前小児科医長の外来診療に加えて、国立病院機構の医師1名が月1回富士市立中央病院において外来診療を実施する方向で調整中

- 在宅重症心身障害児（者）の救急医療は、地域の救急医療体制（富士宮市立病院及び富士市立中央病院）において対応
 - ⇒ 平成28年度においても、通常の救急医療体制として、富士宮市立病院を緊急受診されているケースがあり、静岡富士病院の入院患者も従前と同様に必要に応じ受診

機能移転後の在宅療養患者支援策の進捗状況

【通所(通園)等関係】

○ 静岡医療センターでショートステイ・通所(通園事業)を実施

⇒ 平成28年9月に重症心身障害病棟等の建物整備に着手
(平成29年8月工事完了予定)

⇒ ショートステイ2床は併設型で実施予定

○ 富士圏域における重症心身障害児(者)への訪問看護充実のための支援

⇒ 静岡県看護協会主催の「重症心身障害児(者)対応看護従事者養成研修」
の実習施設として登録

【実習実績】平成27年度 3施設、平成28年度 静岡富士病院を希望された施設なし

※ 機能移転後の静岡医療センターにおいても、上記研修の実習施設の登録
を検討しています。

⇒ 平成29年5月に近隣の訪問看護ステーションを対象とした病棟での実習を含む
看護セミナーを静岡富士病院において開催予定

機能移転後の在宅療養患者支援策の進捗状況

○ 富士圏域の社会福祉法人等への移転後の在宅支援協力依頼

- ⇒ 社会福祉施設6施設及び医療機関3施設に対して、支援策の公表時(平成28年9月)に協力いただくことを確認。その後、新たに医療機関(1施設)と連携開始
- ⇒ 上記の協力依頼の他、静岡富士病院通所(さくらの丘)利用者(4名)の他施設移行について、継続して近隣社会福祉施設と調整中